

JR 内房線「那古船形駅」駅舎活用に伴う事業協定締結について

- 東日本旅客鉄道株式会社千葉支社（千葉県千葉市、執行役員支社長：三島 大輔）は、南房総において地方創生事業を行っている株式会社ブルー・スカイ・アソシエイツ（東京都渋谷区、代表取締役：金子 岳人）と2026年3月30日に駅舎活用の事業協定を締結しました。
- 地域の活性化を目的とし、今後両社は連携して駅舎活用に向けた工事を行い、2027年度中の活用開始を目指します。

1. 協定締結の目的

東日本旅客鉄道株式会社千葉支社と株式会社ブルー・スカイ・アソシエイツは、駅を中心とした地域の活性化のために、相互に協力して那古船形駅の駅舎活用に推進することを目的として協定を締結しました。

2. 主な協定事項

- 東日本旅客鉄道株式会社千葉支社が駅舎を株式会社ブルー・スカイ・アソシエイツに賃貸し、同社の事業を支援すること
- 株式会社ブルー・スカイ・アソシエイツが駅舎において、物販及び料飲の営業を行うこと

3. 駅舎活用の概要

【所在地】〒294-0056 千葉県館山市船形 227

【設備】物販スペース、料飲スペース、パブリックスペース（待合室）

■物販および料飲スペース

旧乗車券発売所窓口を活用し、地元製造のラム酒やソフトドリンク、スイーツなどを取り揃える予定です。

■パブリックスペース（待合室）

物販エリアで購入した商品をお店で楽しむことができるほか、列車の待合室として引き続きご利用いただけます。



物販および料飲スペース



パブリックスペース

4. 駅舎活用に向けた工事

現在、駅舎内に設置されている改札機器などを駅舎外に移設する工事を行い、2027年度中の活用開始を目指します。工程等の詳細については、別途、現地への掲示などでお知らせします。



那古船形駅舎外観



物販および料飲スペース予定箇所



パブリックスペース予定箇所

※今後都合により変更となる可能性があります。
※画像・イラストはイメージです。
※掲載の内容は2026年5月現在の情報です。

【参考】「株式会社ブルー・スカイ・アソシエイツ」について

ブルー・スカイ・アソシエイツは、「資本と地域、人と地域をつなぐ」ことを掲げ、南房総をはじめとする地方創生事業を手掛けています。これまでの東日本旅客鉄道(株)との連携施策としては、2024年10月に地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub 館山 オフィス棟」(1棟型レンタルオフィス)に、地域課題解決を目的としたサテライトオフィス拠点として進出しました。また、2025年12月からはホテル「TAUTAU Terrace Tateyama」の運営を、子会社である株式会社エヴァーブルスカイを通じて担っています。

私たちが目指すのは、地域の人、建物、食べ物、あらゆる資源を活かし、地域そのものを売ることを念頭に、ホテルをハブとして、関わる地域における持続可能なビジネスモデルを構築することです。そして、その主役は、地域住民や働き手です。地域とそこに住む方々が潤い、未来に続く事業を構築していきます。

➤ブルー・スカイ・アソシエイツ公式 HP <https://bluesky-as.com/>